

PCSA アクションレポート（人事問題研究部会）

平成 31 年 1 月版

第 177 回人事問題研究部会・第 11 回新卒採用情報交換会

| | |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時 | 平成 31 年 1 月 22 日（火） |
| 開催場所 | PCSA 会議室 |
| 出席人数 | 部員 7 名正会員オブザーバー 12 名、合計 21 名 |
| 出席者 | <p><リーダー></p> <p>志賀 健太郎 株式会社ニラク 人財開発部 人事労務グループマネジャー</p> <p><サブリーダー></p> <p>木内 克宏 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部</p> <p><部員></p> <p>佐々木 忍 夢コーポレーション株式会社 経営企画室 人事企画担当</p> <p>河野 太介 株式会社 TRY & TRUST 人事総務部 LD</p> <p>新山 靖之 株式会社セントラル伸光 人事部 主任</p> <p>中澤 直樹 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 組織戦略部 部長</p> <p>鈴木 崇之 株式会社三永 人事総務部 部長代行</p> <p><正会員オブザーバー></p> <p>並木 康行 株式会社ダイナム 人材開発部 採用担当</p> <p>田島 里美 株式会社ニラク 人財開発部 キャリア開発グループ</p> <p>渋谷 宜克 株式会社ニラク 人財開発部 キャリア開発グループ</p> <p>内堀 克彦 株式会社合田観光商事 人材開発部 次長 採用・育成戦略課 担当</p> <p>佐藤 裕美 株式会社合田観光商事 人材開発部 採用・育成戦略課 主任</p> <p>窪田 祥太郎 株式会社合田観光商事 人材開発部 採用・育成戦略課</p> <p>酒井 慈人 株式会社ヒカリシステム アシスタントマネジャー</p> <p>窪田 裕史 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 組織戦略部 課長</p> <p>吉野 亜衣子 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部 係長</p> <p>堀口 憲一 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部 主任</p> <p>丸山 高弘 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 組織戦略部 主任（リクルーター）</p> <p>村田 真弓 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 組織戦略部（リクルーター）</p> |

スケジュール

午後 1 時 基調講演（質疑応答含む）

講 師：株式会社パフ 専門役員 田代 明久様

テーマ：『自社の魅力を最大限に引き出すプレゼンテーション&選考手法設計講座』

「自社を魅力的に伝えるためのプレゼンテーション力の向上手法」や「他社と差別化を図る選考ステップの作り方」等について、実例を交えながらご講演頂く。

午後 2 時 30 分 意見交換会・グループセッション

午後 5 時 意見交換会 終了

午後 5 時 30 分 情報交換交流会

第 11 回新卒採用情報交換会

第 1 部 基調講演

講師：株式会社パフ 専門役員 田代 明久様

テーマ：『自社の魅力を最大限に引き出すプレゼンテーション&選考手法設計講座』

「自社を魅力的に伝えるためのプレゼンテーション力の向上手法」や「他社と差別化を図る選考ステップの作り方」等について、実例を交えながらご講演頂く。

内容：「1.各選考ステップの位置づけ」では、インターンシップ、合同説明会、業会研究会、会社説明会それぞれの位置づけと対象となる学生について説明した。「2.ブースに立つ説明員の心構え」では、学生がその会社に決めた理由が、「その会社の人との会話」であることが多い為、ブースに立つ説明員は優秀な営業担当社であるべきだと説いた。「3.学生が立ち寄りやすいブースとは」では、まず立ち寄りやすい雰囲気のあるブースについて説明し、その後具体的なアピールすべきポイントについて述べた。「4.プレゼンテーションとは何か」では、報告と発表、プレゼンテーションの相違点を明確に説明した。「5.説明員が磨く4つのトークポイント」では、実際の事例を交えて、学生の頭にイメージをわきやすくするために、専門用語はできるだけ使わず、わかりやすいキーワードでリズムの良いフレーズを作れるようにすればよいと説明した。「6.選考手法の種類について」では、様々な選考方法の対象人数、評価基準、コスト、志望度がアップするかなどを説明した。「まとめ」では、現在、「学生を集める」よりは「学生を集めた後に育てる」事が重要になってきていると締め括った。

第 2 部 意見交換会・グループセッション

4～5 名ずつの 4 グループに分かれての意見交換会とグループセッションを実施した。

① ディスカッション 1

「入社動機をドラマチックに語ろう」

各グループ 1 人 5 分で、自らの入社動機を各グループ毎に語り合う。

② ディスカッション 2

「講演を聞いて」

1. 気づいた点、参考になった点
 2. 自社の採用活動に反映できそうなこと（考え方、手法など）
- を、各グループで共有、最後に発表。

グループ A

① 東急ハンズの事例

選考中に内定者フォローイベントをしている

↓

入社後どの様なスキルが身につくか整理して伝える。

キャリアパターンを 3 つぐらい作る。

② 「人」が大事

入社のきっかけになっている。

↓

再認識&強化！！

③不安洗い出しワーク

学生はずっと不安がっている。

↓

見える化→ワークではがす→納得する

④カウンタートーク

わざとネックな話をしてポジティブに話す

↓

あるあるを何パターンか作って共有する

説明会時に使用していく（株式会社ダイナムからさらにデータを頂いてください）

⑤ケーススタディワーク

働くイメージを持ってもらえるようにする

↓

説明会時に接客時のエピソードを使ったクイズをやる。（動画を見せるのが効果的）

グループB

①

・ターゲット（対象学生像）

自社にあった学生を採用していこう。

・呼び込み（会話）

ブースが最初から埋まる事はほぼない。テクニックとして、「会話から始める」呼びかけ。

・専門用語

パチンコをやったことがない学生が多い。専門用語を使わずに説明する。わかりやすく。

・ネックに対するカウンタートーク

回答を用意して、学生にすっきりしてもらおう。

・面接時（魅力を伝える。）

面接官の言動が重要。気を付けたい。

・コミュニケーション設計

動機づけにつながるようにしたい。

②

・疑問洗い出し

学生は、共感してくれるが親御さんが納得できないパターンが多い。学生が自分の言葉で親御さんを説得できるようにしていきたい。

グループC

母集団：リクルーターへの教育ツール。

現場にベテランを呼ぶ際のツールを揃える事が出来る。

・カウンタートーク

良くあるのが異動、これに対するカウンタートークの事例を共有した。

・相手の気持ちになって表現力UP

リクルーターが話しすぎることもあるので、学生の気持ちになる事を重視。

選考：選考＋フォローを考えていく。

飲みに行くという回答が多かった。それ以外のアプローチを考えたい。

- ・NG条件を設定したい。

この業界は不人気なので10年後には、NG条件を設定したい。

フォロー：疑問の洗い出し

紙に書きだして、その疑問が減っていく、解決していくというのをやっていきたい。

グループD

採用活動に反映したい事

①入社動機

- ・学生対応者全員が原稿を作成する必要がある。

魅力的な内容にするべき

②カウンタートークを磨く

- ・事前に質問を予測して模範解答を作成。

回答にぶれがないように事前作成が必要。

③GOOD、NG条件を共有

採用する部署と、実際に働く部署との擦り合わせ、共有が必要だと考えた。

④立ち寄りやすいブース作り

- ・一目でわかりやすい。

学生にどうしたら座ってもらえるのか、を考えてブース作りをすべきだと考えた。

- ★普段中途半端になっている部分をはっきりさせたい。

次回開催

開催日：平成31年2月8日

時間：午前11時～午後3時

開催場所：PCSA 会議室（東京 銀座）

以上